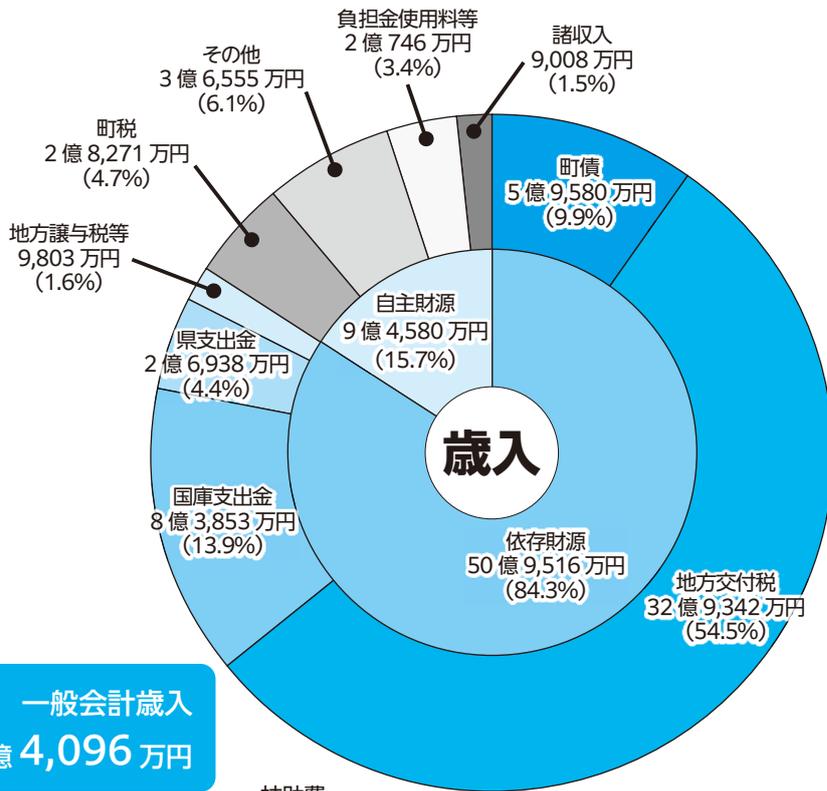
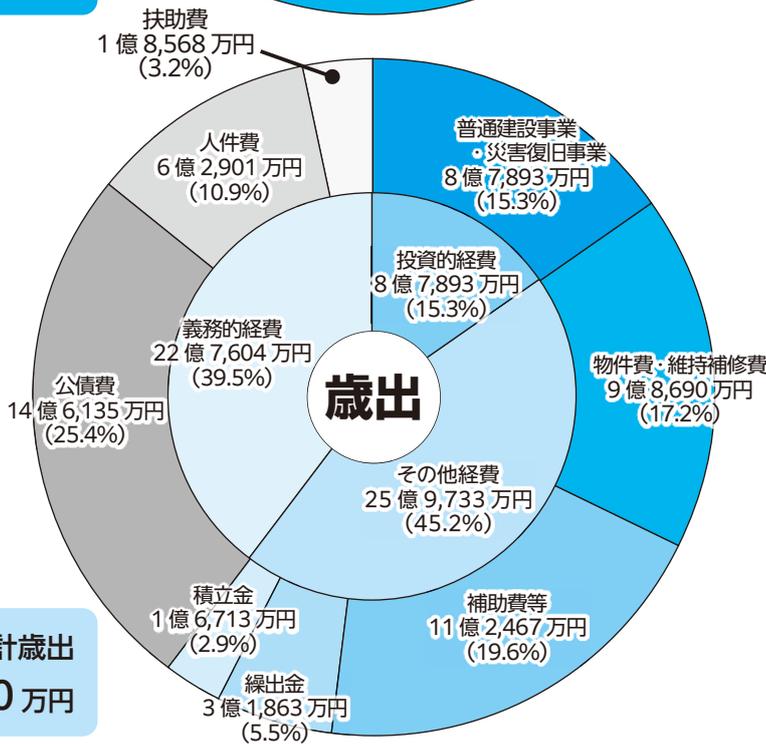


決算報告



一般会計歳入
60億4,096万円



一般会計歳出
57億5,230万円

一般会計の歳入歳出の総額は、歳入60億4096万円、歳出57億5230万円となり、形式収支は2億8866万円、翌年度に繰り越すべき財源2160万円を差し引いた実質収支も2億6706万円の黒字決算となりました。
令和3年度に比べ、歳入は3億8613万円減、歳出は4億8964万円減と歳入歳出ともに減少しました。令和3年8月の大雨被害からの災害復旧事業は増となりましたが、庁舎建設事業や防災行政無線整備事業などの完了により普通建設事業が減となり、投資的経費全体では減となりました。それに伴いその財源の町債、繰入金も減少しています。一方で、これまでの大型公共事業の元金償還が開始しており公債費はピークにあると言えます。

用語解説

- ◆ **自主財源**
町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- ◆ **依存財源**
国や県から交付されるお金や借入金。
- ◆ **地方交付税**
地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- ◆ **町債**
町の借金。
- ◆ **公債費**
町債の元利償還金等。
- ◆ **義務的経費**
支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- ◆ **投資的経費**
道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- ◆ **扶助費**
法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- ◆ **繰出金**
他の会計に支出するお金。

特別会計

会計名	歳入	うち一般会計からの繰入金	歳出	差引
国民健康保険事業	4億2,274万円	3,201万円	4億1,480万円	794万円
後期高齢者医療保険事業	1億102万円	5,137万円	1億101万円	1万円
浦郷診療所	4,871万円	578万円	4,850万円	21万円
へき地三度出張診療所	1,194万円	566万円	1,174万円	20万円
簡易水道事業	2億16万円	5,519万円	1億9,993万円	23万円
下水道事業	2億4,050万円	9,723万円	2億3,966万円	84万円
合計	10億2,507万円	2億4,724万円	10億1,564万円	943万円

財政健全化指標

指標	令和3年度	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	12.7%	11.9%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	74.3%	70.3%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

町債（公債費）残高

会計名	令和3年度	令和4年度
一般会計	115億2,601万円	106億8,170万円
浦郷診療所	1,172万円	1,058万円
簡易水道事業	8億123万円	7億8,322万円
下水道事業	11億6,262万円	11億2,403万円
合計	135億158万円	125億9,953万円

基金残高

基金名	令和3年度	令和4年度
財政調整基金	9億8,853万円	10億3,087万円
減債基金	9億4,891万円	10億805万円
国保関連基金	3,399万円	3,433万円
その他基金	1億6,479万円	1億4,774万円
合計	21億3,622万円	22億2,099万円

今後の見通し

西ノ島町の財政は、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

令和3年8月の大雨災害からの災害復旧事業を行っていますが、国の補助金や交付税措置のある地方債を財源として行っているため後年度の財政状況に大きく影響することはありません。大型公共事業の元金償還による公債費のピークが続く見込みであるため基金を適切に運用し、計画的に繰上償還を行う予定としています。財政状況は決して楽観視できませんが、引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。